

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【公表番号】特表2002-530415(P2002-530415A)

【公表日】平成14年9月17日 (2002.9.17)

【出願番号】特願2000-583918(P2000-583918)

【国際特許分類】

C 0 7 F 17/00 (2006.01)

C 0 7 F 7/08 (2006.01)

C 0 8 F 4/62 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

C 0 7 F 7/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 17/00

C 0 7 F 7/08 C

C 0 8 F 4/62

C 0 8 F 10/00

C 0 7 F 7/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年4月17日 (2012.4.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

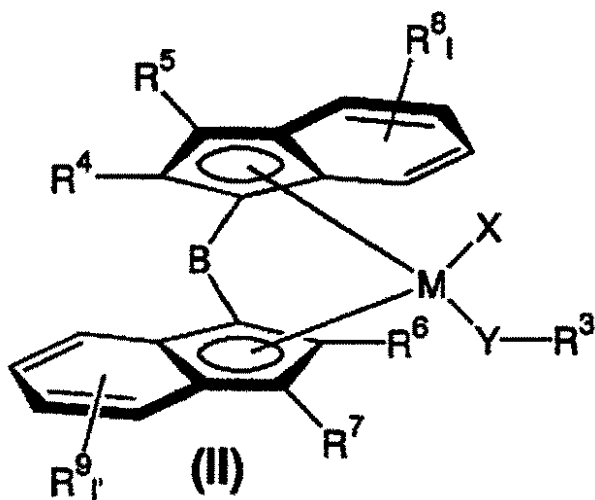
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下式 (I I)

【化 1】



で表わされ、かつ式中の

M が、Z r を意味し、

R³ が、それぞれ C₇ - C₃₀ アルキルアリアルを意味し、

R⁴、R⁵、R⁶、R⁷ が、相互に同じでも異なってもよく、それぞれ水素原子または C₁ - C₂₀ 基を意味し、

R⁸、R⁹ が、相互に同じでも異なってもよく、それぞれ水素原子、ハロゲン原子、または C₁ - C₂₀ 基を意味し、また R⁸ もしくは R⁹ が、それ自体置換されていてもよい単環または多環基を形成してもよく、

X が、ハロゲン原子を、

Y が、酸素を意味し、

B が、M³R¹³R¹⁴として定義された、2個のシクロペンタジエニル環の間におけるブリッジ構成単位を意味し、ここで、M³は炭素又は珪素を意味し、及びR¹³及びR¹⁴は、相互に同じでも異なってもよく、それぞれ、C₁ - C₁₀アルキル、C₆ - C₁₄アリアルまたはトリメチルシリルを意味し、

1、1' が、相互に同じでも異なってもよく、それぞれ 0 ~ 4 の整数である、ことを特徴とする化合物。

【請求項 2】

X が塩素であることを特徴とする請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

インデニル環が 2 - メチル - インデニル又は 2 - メチル - 4 , 5 - ベンゾインデニルであることを特徴とする請求項 1 又は 2 の何れかに記載の化合物。

【請求項 4】

B が、(C H₃)₂S iであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の化合物。

【請求項 5】

R³ が、2 , 4 - ジ - t e r t - ブチル - フェニル、2 - イソプロピル - 5 - メチルフェニル、2 , 4 - ジ - メチルフェニル、及び 2 , 4 - ジ - t e r t - ペンチルフェニル から選ばれることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

ジメチルシランジイルビス(2 - メチル - 4 , 5 - ベンゾインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 , 4 - ジ - t e r t - ブチルフェノキシド)、

ジメチルシランジイルビス(2 - メチルインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 , 4 - ジ - t e r t - ブチルフェノキシド)、

ジメチルシランジイルビス(2 - メチル - 4 , 5 - ベンゾインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 - イソプロピル - 5 - メチルフェノキシド)、

ジメチルシランジイルビス(2 - メチルインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 - イソプロピル - 5 - メチルフェノキシド)、

ジエチルシランジイルビス(2 - メチルインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 , 4 - ジ - メチルフェノキシド)、及び

ジメチルシランジイルビス(2 - メチル - 4 , 5 - ベンゾインデニル)ジルコニウムモノクロリドモノ(2 , 4 - ジ - t e r t - ペンチルフェノキシド)

から選ばれることを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の化合物。

【請求項 7】

式(I)の前記化合物(但し、X が C l であり及び O R³ が C l である)の溶解度が、トルエン中のモル濃度として、室温で測定して、対応するメタロセンジクロリドの溶解度と比較して、少なくとも 2 倍であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の化合物。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の化合物、担体及び共触媒を含むことを特徴とする、オレフィン性モノマーを重合することによってポリオレフィンを製造するために使用される触媒。

【請求項 9】

オレフィン性モノマーを、請求項 8 に記載の触媒の存在下に重合することを含む、ポリオレフィンを製造する方法。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の触媒を、オレフィンの重合に使用する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0137

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0137】

実施例 6

ジメチルシランジイルビス(2-メチル-4,5-ベンゾインデニル)-ジルコニウムモノクロリドモノ(2,4-ジ-tert-ペンチルフェノキシド)(6)の製造

10mlのトルエンと1mlのTHFの混合溶媒中における0.85g(3.5ミリモル)の2,4-ジ-tert-ペンチルフェノールを、室温において、トルエン中、20%濃度のブチルリチウム溶液1.3ml(3.5ミリモル)と混合した。この混合物を、60においてさらに1時間攪拌し、これに、室温において、1.0(1.74ミリモル)のジメチルシランジイルビス(2-メチル-4,5-ベンゾインデニル)ジルコニウムジクロリドを固体として添加した。この懸濁液を100において4時間攪拌し、40mlのトルエンで希釈し、次いで高温のままセライトを介して濾過した。このフィルターケーキを、それぞれ25mlのトルエンで2回抽出した(100)。溶媒を濃縮して容量を10mlとし、沈殿黄色固体を濾別し、少量の冷めたトルエンで洗浄し、そして真空下に乾燥させた。これにより表記のジメチルシランジイルビス(2-メチル-4,5-ベンゾインデニル)-ジルコニウムモノクロリドモノ(2,4-ジ-tert-フェニルフェノキシド)(6)0.85g(63%)が得られた。